



納得度79%

協働の窓口 (みずほマッチング)

互いの長所を生かし、短所を補う「コーディネートと支援」で協働を体験へとつなげ、積み重ねができるかが課題である。

古宮 議員



納得度80%

計画的なまちづくり

モノレール沿線まちづくり、立地適正化計画など予定通りの進捗だと評価する。さらなる住民意見の取り込み、情報共有を期待する。

下澤 議員



納得度80%

「OHAKO」プロジェクト

駅西公有地活用業務委託はある程度の成果を上げたと思う。今後、町民を巻き込んで賑わいの創出につなげていけるのか不安も残る。

香取 議員



山崎 議長

5年度にはモノレール延伸に対し、都からの説明があり、明るい兆しが見えました。5月には新型コロナウイルスが5類となり、コロナ禍前の生活に戻ると思われましたが、ロシアのウクライナ侵攻や中東ガザ地区の紛争が止まず、世界情勢の影響が国内燃料・食料物価を押し上げました。そのような状況での町政運営を議員はどう評価したのか。各議員の決算納得度と注目事業についてご紹介します。

納得度90%

安全・安心

自転車用ヘルメットの購入費用助成制度は高評価。購入費の2分の1上限2,000円を補助。6年度も継続中。



原 議員

納得度75%

都市計画

多摩都市モノレール沿線のまちづくりおよび立地適正化計画の構想内容が、町の発展につながるものになるか強く懸念を感じる。



榎本 議員



大坪 議員

納得度80%

高校生等医療費助成

高校生までの医療費一部負担金と所得制限撤廃は、保護者負担軽減と少子化対策でも大いに評価できる内容であった。



下野 議員

納得度95%

不登校対策

不登校の児童・生徒への支援として、支援員の活用や相談体制の充実などの取り組みは評価できる。居場所の在り方が今後の課題。



大和 議員

納得度90%

町独自の給付事業

国の施策の対象とならない低所得世帯への町独自の給付事業で、1世帯あたり2万5千円の給付を実施したことは評価できる。

納得度80%

教育

臨海学校ではなく、林間学校と英語体験施設(立川市)での研修に変更になり、継続して効果を注視したい。



川島 議員

納得度80%

空き家対策

空き家の実態調査を行い、状況の把握に努めたことは評価できる。今後の具体的な対策を期待する。



高橋 議員

納得度95%

緊急支援対策

物価高騰による負担軽減のための生活支援費の支給や、中小企業者・農業者を対象とした臨時対策補助金など、緊急支援の支出は評価できる。



小川 議員

納得度80%

社会的資源としての人材育成と活用に課題

町の発展・成長にDX推進は必須であり、それを拓く人材育成と、学校・地域の連携による人材活用に課題が残る。



森 議員

納得度80%

協働事業の推進

協働の窓口を活用し、事業費をかけずに、多くの組織と連携できたことは評価できる。今後は、その広報戦略が課題である。



井上 議員

納得度80%

都市計画税の税率の特例0.27%を延長

コロナ禍の0.25%を4年度に0.27%に戻し、これを8年度まで延長した。今後も、効率的な財源活用を。



奥泉 議員

議員はこう

町政運営 評価した!